



## 充電方法

※充電中は充電器本体に多少の熱を持ちますが性能には影響ありません。  
充電状態は充電器のランプで表示しています。

【プラグコードの接続】ご購入時は充電器本体とプラグコードが別になっていますので、接続の上ご使用ください。



接続



※接続は、上下どちらの向きでも構いません。

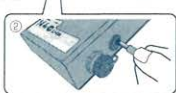
①充電器の電源プラグを電源コンセントにさし込みます。



バッテリー(充電電池)

充電器

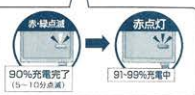
②バッテリー(充電電池)を充電器に接続します。(充電器のランプが赤に点灯します)



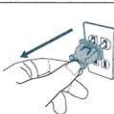
③充電器のランプが緑に点灯すれば充電完了です。バッテリー(充電電池)を充電器から取り出してください。



④赤・緑点滅状態で90%充電完了です。  
※充電電池の状態や環境により点滅/点灯のタイミングは多少前後します。



④充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



- ・充電中、テレビ・ラジオなどに雑音が入ることがあります。この場合、充電器をテレビ・ラジオから離すか、別のコンセントを使用してください。
- ・周囲の温度が10℃～40℃の間で充電ください。それ以外の温度で充電されずと充電完了までの時間が長くなります。
- ・充電完了後は、必ず充電器からバッテリー(充電電池)を取外してください。
- ・充電状態でのご使用はおやめください。機器破損の原因となります。



## 充電について

### ⚠ 危険

誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 当社バッテリー(充電電池)以外のバッテリーを充電しないこと。
  - バッテリー(充電電池)・充電器を分解・改造・修理しないこと。
  - バッテリー(充電電池)を火の中に入れたり、加熱しないこと。  
尚、水に濡れた場合でも加熱用機器などで無理に乾燥させないでください。
  - バッテリー(充電電池)・充電器を火・ストーブのそばなど高温の場所に放置しないこと。
  - バッテリー(充電電池)・充電器を落としたり、強い衝撃を与えないこと。
  - バッテリー(充電電池)・充電器を水や汗、海水、薬品などで濡らしたり、かかる恐れのある場所に置かないこと。
  - バッテリー(充電電池)・充電器の接続部を針金などの金属で接続しないこと。
  - バッテリー(充電電池)・充電器の機器に接続するときに、無理に接続しないこと。
  - 電子式変圧器に接続しないこと。
- ※充電器の電源として使用すると異常な発熱、発火の恐れがあります。

・バッテリーが異常な発熱・破裂・発火の原因になります。  
・感電死やけがの原因になります。

### ⚠ 警告

誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 濡れたバッテリー(充電電池)を充電しないこと。  
万一、液体がかかってしまった場合は、ただちに充電器のプラグを抜いてください。
- 長時間使用しない場合は充電器のプラグをコンセントから抜くこと。
- 充電器にほこりが付着している場合は、充電器のプラグをコンセントから抜き、拭きとる。
- バッテリー(充電電池)からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科の医師の治療を受けること。  
※そのままにしておく、目に障害を与える原因になります。
- バッテリー(充電電池)・充電器が発煙・異臭などの異常が発生したり、破損したときは、すぐに次の作業をすること。  
①充電中であれば、充電器をコンセントから抜く  
②冷えたのを確認し、バッテリー(充電電池)を取外す

・バッテリーが異常な発熱・破裂・発火・火災・感電・回路のショートによる故障の原因になります。  
・けがの原因になります。

### ⚠ 注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容と物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- バッテリー(充電電池)・充電器を直射日光の強い所や炎天下の車内など、バッテリー(充電電池)が高い温度になる所での使用、放置しないこと。
- バッテリー(充電電池)・充電器を幼児の手の届く場所に置かないこと。  
※けがなどの事故の原因になります。
- 充電器の接続部分に針金などの金属で接続しないこと。  
※異常な発熱をし、やけどの原因になります。
- 濡れた手で充電器を抜き差ししないこと。  
※感電の原因になります。
- 不要になったバッテリー(充電電池)は一般のゴミと一緒に捨てないこと。
- バッテリー(充電電池)からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと。  
※そのままにしておく、皮膚がかぶれたりする原因になります。
- バッテリー(充電電池)を充電器に接続したまま放置しないこと。  
※相当長時間充電するとバッテリー(充電電池)の性能が劣化します。

・ショート、感電、やけど、けがの原因になります。